

6日獣発第304号
令和7年1月16日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

高病原性鳥インフルエンザの発生急増を踏まえた対応の強化について

このことについて、令和7年1月14日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局動物衛生課家畜防疫対策室長から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、高病原性鳥インフルエンザが過去にないほどの勢いで急増している状況を踏まえ、農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部を開催し、高病原性鳥インフルエンザの地域でのまん延を防ぐための対応の強化として、危機感の共有、地域全体のウイルス量の低減、養鶏集中地域などにおける対策の点検と再徹底等を確認したとのことです。

つきましては、改めて発生防止、対策強化を徹底いただきますよう、貴会関係者への周知方、よろしく願いいたします。

【周知資料】

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/attach/pdf/r6_hpai_kokunai-99.pdf

本件のお問合せ先

公益社団法人 日本獣医師会

事業担当：岡本

TEL:03-3475-1601

E-mail: okamoto@nichiju.or.jp

事務連絡
令和7年1月14日

家きん関係団体 各位

農林水産省消費・安全局
動物衛生課家畜防疫対策室長

高病原性鳥インフルエンザの発生急増を踏まえた対応の強化について

高病原性鳥インフルエンザについては、本年に入ってから本日までに5県12農場で発生が確認されており、過去にないほどの勢いで急増しています。

このような状況を踏まえ、本日、農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部を開催し、高病原性鳥インフルエンザの地域でのまん延を防ぐための対応の強化として、危機感の共有、地域全体のウイルス量の低減、養鶏集中地域などにおける対策の点検と再徹底等を確認しました。

家きん農場においては、これまでも本病の発生防止について徹底いただいているところですが、改めて、全ての関係者が、発生の続く危機的な状況を踏まえて対策を強化することが重要です。

家きんの関係団体の皆様におかれましては、引き続き、都道府県とも連携し、家きん農場に対し、早期通報の徹底、農場及び周辺環境での消毒の徹底、鶏舎周囲や堆肥舎への防鳥ネットの設置・修繕によるカラス等野鳥の接近防止、鶏舎の隙間の穴埋めや粘着シート設置によるネズミ等の野生動物の侵入防止等、具体的な対策強化を徹底するようご指導いただくようお願いします。

なお、農林水産省において危機感の共有に関する周知資料（別添）を作成しましたので、ご活用いただくようお願いします。

【周知資料】高病原性鳥インフルエンザの発生が急増しています！！

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/attach/pdf/r6_hpai_kokunai-99.pdf

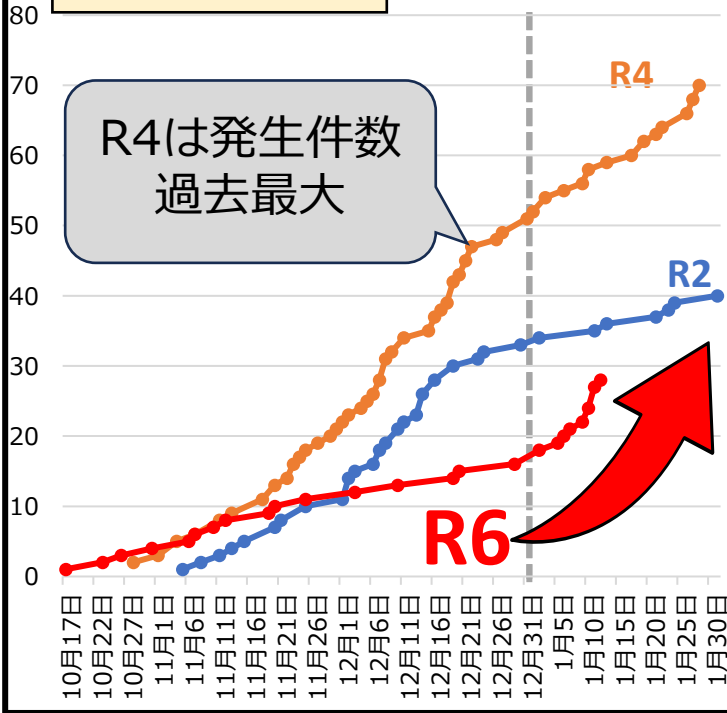
高病原性鳥インフルエンザの発生が急増しています！！



家きん飼養農場では最大限の警戒をお願いします

特に大規模農場、既発生地域、養鶏密集地域は具体的な対策強化を徹底

発生件数の推移



**年明けから過去にないほどの勢いで発生件数が急増！
特に養鶏密集地域で連続して発生**



具体的な対策のポイント

- ◆ 鶏の様子が少しでもおかしいと感じたら**家畜保健衛生所に連絡を！**
- ◆ 農場周辺にウイルスが大量に存在しているので、**入退場時や敷地周辺の消毒**により人・車両・塵埃によるウイルス持ち込み防止を徹底！
- ◆ **防鳥ネットの設置・修繕、隙間の穴埋め**など、カラス等の野鳥、野生動物侵入防止対策を再点検！



車両・手指・物品消毒の徹底



集卵ベルト等の開口部の隙間対策



防鳥ネットや鶏舎破損の補修